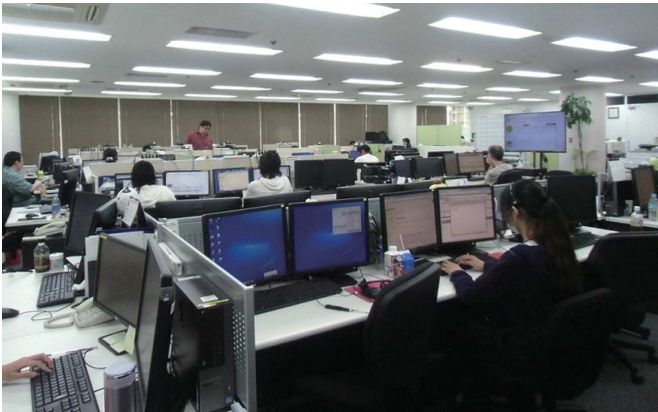


# メールセキュリティを オールインワンで容易に対策！ 導入&ランニングコストを抑えつつ メールアーカイブも実現



## ピットクルー株式会社



コンタクトセンター・広告審査支援・ECサイト運用支援・投稿監視などのBPOソリューションを提供。豊富な導入実績と、15年以上の運用ノウハウによる高品質なサービスでインターネット社会を支えている。

### 所在地

〒101-0032  
東京都千代田区岩本町2-4-1  
神田岩本町プラザビル7F

### URL

<https://www.pit-crew.co.jp/>



## 導入前の課題

# メールセキュリティのレベルアップと 管理の効率化が早急な課題に さらにメールアーカイブも実現したい

## 導入の背景

### 自前のメールセキュリティ対策にも限界が！ 加えてメールアーカイブの必要性も

日本で最も早く設立されたネットサポートのリーディングカンパニーとして、インターネット上の広告審査サービス、イー・コマース不正対策、知的財産権侵害の調査、保険会社代理店ホームページ審査など、進化し続けるインターネット環境に対応した各種ソリューションサービスを開発・提供する、ピットクルー株式会社。東京・千代田区の本社のほか、全国9カ所に拠点を構え、顧客により最適なセンターでサービスを提供している。

コアビジネスとしては、コミュニティサイトにおける投稿監視や、幅広いチャネルを備えたコンタクトセンター代行業務などがある。監視業務については近年、AIシステムと有人による目視を融合することで、精度の高い効率的なモニタリングを行い、エンドユーザーが安心してインターネットを利用できるよう、違法有害情報や不正利用を検出・排除しているという。

また、2009年から、児童・生徒によるインターネットの不適切な利用状況の調査(ネットパトロール等)や教育啓発(専門講師による出前授業等)、SNS等を利用した相談窓口の運営業務などを地方自治体や学校に一体的に提供するインターネットセーフティ事業にも取り組んでいる。この「スクールネットパトロール」という事業は、全国30以上の自治体、教育委員会、学校、団体等から、継続的に受託している。

ピットクルーではこうした業務の中で、例えば顧客のシステムからのアラート通知、コンタクトセンターへの問い合わせなど、メールでのやり取りが膨大に起こる。サービス提供先

の顧客とのやり取りも発生するので、セキュリティは欠かせない。メールサーバはクラウドではなく、オンプレミスを使用。一応、フィルタリングはかけていたが、満足できるような結果は得られていなかった。今回取材した名古屋サービスセンターの管理部情報システム課運用管理チームの酒井貴也氏は次のように語る。

「IPアドレスベースでブラックリストを参照してブロックする、といった程度のフィルタリングでした。そのため、すり抜けるものが多く、特にスパムメールがよく送られてくる。管理負担も大きいですし、安全性を高めるため、もっとセキュリティを強化する必要性に迫られていました」

迷惑メールなどの対策に加えて、メールアーカイブを取っていないという問題点もあった。「もし情報漏洩などが発生した場合を考えると、電子証拠を残しておきたい。このことから、セキュリティ向上に加えて、メールアーカイブも取れるシステムを採用したいと考えました」と必要とされたもう1つのポイントを酒井氏は明かす。



管理部  
情報システム課  
運用管理チーム  
ITセキュリティ推進チーム(兼務)

酒井 貴也氏

## 選定

幅広い機能の“オールインワン”が決め手となり、  
「TERRACE MAIL Security」を採用

新しいセキュリティシステムの導入に当たっては、他にB社、P社といった大手メーカーのセキュリティ対策製品も候補に上がっていた。それらと比較検討の結果「TERRACE MAIL Security」が選ばれた決め手は、いったい何だったのか。「最も良かったのは、1台ですべてをまかなえるオールインワンという点です」と酒井氏は強調する。

「複数の製品を導入すると、設定や操作方法が異なることから、どうしても管理が大変になります。『TERRACE MAIL Security』の場合、誤送信防止機能、添付ファイルの自動リンク

化、ZIP暗号化などの重要なセキュリティ機能に加え、新たに整備したいメールアーカイブも含めた多機能が1つの製品に収められています。この点が一番の魅力ですね」

画面が大きくてGUIが見やすく、他社製品と比べて操作方法が分かりやすいのも大きな長所だという。さらに、「大規模なシステムではなく、弊社の拠点規模に合っているので、無駄なコストが出ない」という費用面でのメリットも採用の決め手となった。そこで同社は、「TERRACE MAIL Security」の仮想アプライアンス版を導入した。

## 導入効果

精度の高いフィルタリング機能と直感的な操作性  
細かい設定が可能な点にも高い評価

「TERRACE MAIL Security」を導入した後、約1か月の検証を経て、社内で広く運用をスタート。現在では、ほとんどの機能を活用している。

「実際に使ってみると、やはりフィルタリングの精度がとても高いと思います。発信元を騙った請求メールをはじめ、ほぼすべての危険なメールを検出してくれます。メールを止めた理由がすぐにわかるのもいいですね。誤検知だった場合、次回から止めないように設定の変更もできます」とメールセキュリティ機能に対する酒井氏の評価は非常に高い。

期待していたメールアーカイブについても、満足できる内容だと語る。「簡易版を使っているのですが、アーカイブ機能は充実しています。過去のメールを見るときも、普通に検索をかけるだけで検出できて、ダウンロードするのも簡単です。通常、アーカイブ機能しかない製品を別途導入することが多いようですが、この場合、新たに相当な費用がかかります。『TERRACE MAIL Security』はオールインワンなので、コストメリットがとても大きいですね」と高い評価を下す。

また、実際に使ってみると、かなり細かい部分まで設定可能なことに酒井氏は驚いたと言う。例えば、添付ファイルの送信については、各業務部門のチームがそれぞれのルールを設定。自動リンク化やZIP化、誤送信防止の送信保留など、状況に合わせて設定を変え、独自に使い分けているようだ。「フィルタリングの条件なども、細かく指定できるので、非常に便利だと思います」と酒井氏は納得の表情で語る。

画面の見やすさ、操作性の良さについても、使うとより実感するとのことだ。他社製品のなかには、画面が複雑で見にくいものがあったというが、「非常に見やすく、操作もしやすい。マニュアルを読み込まなくても、直感的な操作で作業を進められます。高度なスキルは必要なく、基礎レベルの知識さえあれば、十分管理できます。ログについても、機能が充実しているので使いやすい。キューに溜まっているメールを確認し、必要でないものは削除することもできるので、とても管理しやすいと思います」と酒井氏は語る。



## 今後の展開

「Office 365」の導入でサーバーの利便性をアップし  
「TERRACE MAIL Security」でセキュリティを確保

「TERRACE MAIL Security」の導入からこれまで、システムのストップや不安定な動作といったトラブルは発生していないという。導入後、セキュリティ機能が強化されたことにより、業務の効率化が進み、社員の意識も高まってきたようだ。ほぼフル機能が稼働しているが、唯一、上長承認機能だけは未使用とのこと。「うまく使っていけば、よりセキュリティが強化されると思います」と酒井氏。この機能は、使用に当たって新たな費用は発生せず、いつでも使うことができる。

ピットクルーでは現在、マイクロソフトのクラウドサービス「Office 365」の導入を検討している。「導入した場合も、フィルタリングについては現状のシステムを継続したいと考えています。『Office 365』にも同様の機能は付いているようですが、『TERRACE MAIL Security』は使い慣れていますし、いろいろとメリットが多い。サーバとしての利便性を上げつつ、セキュリティは現状システムで確保する、という方向を考えています」と酒井氏は今後の方向性を示す。